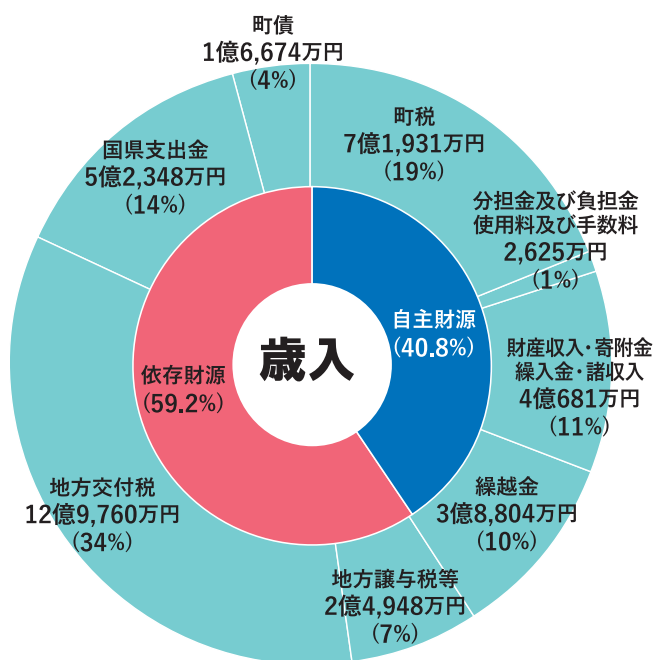


町の決算を報告します！

令和6年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

今後も、「生き生きわくわく 人も発酵するまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

※各表の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。



歳入 37億7,771万円

(前年度比 +3億1,949万円、+9.2%)

【用語解説】

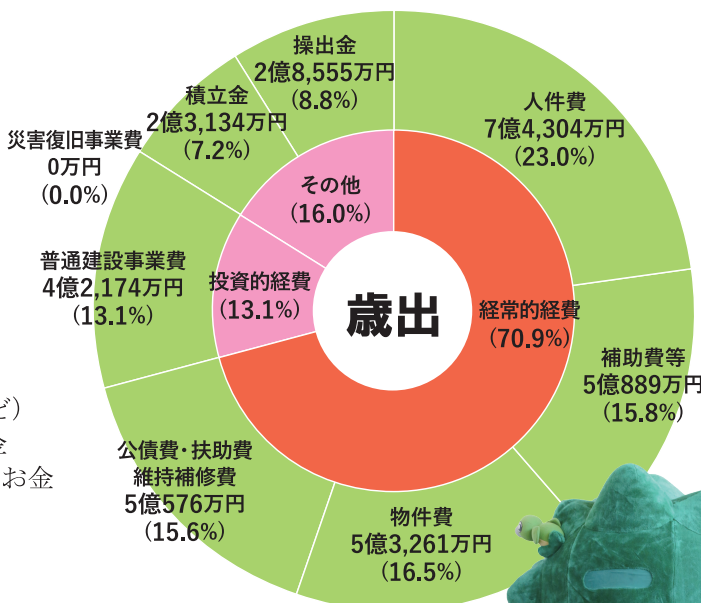
- ・自主財源…町が自ら徴収または収納できる財源
- ・依存財源…国や県から交付される財源
- ・町税…町民の皆さんが町に納める税金
(町民税、固定資産税、軽自動車税など)
- ・繰越金…前年度の繰越金
- ・地方交付税…どの市町村でも一定の行政サービスが行えるように、国から交付されるお金
- ・国県支出金…町が行う事務事業の経費に対し、国や県から交付されるお金
- ・町債…財政負担の平準化や世代間の公平性を図るため、国や銀行などから借入れたお金

歳出 32億2,893万円

(前年度比 +1億5,874万円、+5.2%)

【用語解説】

- ・経常的経費…毎年度経常的に支出されるお金
- ・投資的経費…社会資本の整備に係るお金
- ・人件費…町職員の給与や議員報酬にかかるお金
- ・補助費等…各種団体に対する補助にかかるお金
- ・物件費…消費的な性質のお金
(消耗品費や光熱水費、業務委託料など)
- ・公債費…地方債の元金、利子の返済にかかるお金
- ・扶助費…障がい者支援、医療費助成などにかかるお金
- ・積立金…町の基金(貯金)に積立てるお金
- ・操出金…特別会計の歳入を補うためのお金
- ・普通建設事業費…道路や橋りょう、公園、学校などの
新築・改修にかかるお金



町民1人あたりに置き換えてみよう ※令和7年3月31日現在の人口5,616人で算定

●町民1人に使われたお金(歳出): 約57.5万円

●貯金(基金): 約39.6万円

●借金(地方債): 約26.3万円